

## 子どもの教育と上越市

著者	中村 博生
雑誌名	NICかわらばん
巻	203
発行年	2005-08-07
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10631/714">http://hdl.handle.net/10631/714</a>

# 看護大通信

11



新潟県立看護大学

中村 博生

上越市には、子育て支援の事業がたくさんあります。そのなかでも特に「放課後児童クラブ」について述べてみたいと思います。

夫婦が共働きの、家に留守番をする方がいない場合、子供が小学生の低学年から中学年までの時期は、放課後からの子供の居場所について親はとも悩みます。留守宅に子供だけおくことは、

## 子供の教育と上越市

この施設は市内

いたずら電話、不審者、火事、地震など、さまざまな危険に子供をさらすことになるからです。友達との交流もありますので、大切なよそのお子さんが遊びに来ていさなかに、子供たちの命にかかわることが生じたらどうしようかなどと悩むのです。

七年ほど前のことです。まさに「子育て」真最中のころ、上越市に「放課後児童クラブ」というシステムがあることを知りました。年子の娘二人を早速みてもらうことにしました。当時は、通っている小学校内に設置しており、放課後から夕方六時までみてもらう

ことができました。土曜日、日曜日にも必要であれば、昼食持参でもってもらえました。

特に勤めている夫婦で勤務時間帯がある場合、このシステムは本当に価値のあるものといえます。親にとつて強い味方と言っても過言ではありません。子供を危険からまもる、遊ぶ場所の確保がなされている（学校の体育館）、友達との学年を超えた交流ができる、学習のできる環境がある、などが利点としてあげら

れます。それだけでも十分すぎるほどありがたいのですが、さらに誕生会などのイベントもあります。先生方は「放課後クラブ通信」をつくり、クラブでの子供の様子を報告してください。



家庭の事情がさまざまです。親の保育力、教育力が未熟になつているといわれています。

交通事故、子供に対する犯罪、地震などの天災も頻繁に起こっています。この「放課後児童クラブ」は、親をこれらの不安から解放してくれれます。

娘たちは放課後クラブであったことをとても楽しそうに話していました。児童福祉事業ではありますが、教育の観点からみると、子供の大切な生活の基盤を現代社会のニーズに応じて市民に提供していると言えます。さらに利用価値の高い事業に発展することを期待したいと思えます。

後二時から午後七時、土曜日・学校行事代休日・夏休み等の長期休業日は午前八時から午後七時まで利用できます。日曜日・祝日はお休みです。詳しくは、上越市役所次世代育成支援課次世代育成係（TEL〇二五・五二六・五一一・内線一七〇二）にお問い合わせください。

### 読者の声

●板倉区稲増

中村 恵さんから

小さい子がいるので、看護大通信コーナーでは時によっては小児の相談が勉強になります。